句番号　文協俳句部員投票　一般投票

1		7	新米に麦一匙隠す愛
2		15	細秋刀魚日本経済そのまんま
3	1	4	おつかれさん十一月の旅鞄
4		11	一人でも独りにあらず花野道
5	1	6	キラキラと並ぶサンマは目の保養
6	1	14	移りゆく風の匂いと虫の声
7		2	夜の道追いかける月振り切って
8	1	10	ほろ酔いの手酌侘しく月見酒
9		6	観戦のアジア大会赤とんぼ
10		7	じゅじゅじゅっと飛び散りこげる秋刀魚かな
11		1	係留のボートことりと風は秋
12		4	曼珠沙華小雨に蕊の艶やかに
13		13	クーポンで新米ゲットわっくわく
14		4	改革か？！平日開催運動会
15		8	秋雨に猛暑の夏をなつかしむ
16		5	満月が雲間に覗き光差す
17	1	11	ガザの子は此の満月を見て居るか
18	3	6	いわし雲夕日に焼けてしまひさう
19	1	4	立秋やたつあきと読む父思う
20		3	曼珠沙華生き急ぎし献杯す
21		4	梨や鰯笑顔と届く敬老日
22		9	菊持ちて母待つひ孫と夕墓参
23	2	2	汐入の水満々や鰡の飛ぶ
24	1	4	野良仕事日和となりぬ朝の虫
25	5	1	今朝の秋始発電車に客二人
26	1		胡麻豆腐練る厨房に虫の声
27	1	8	招かざる雑草元気に秋迎ふ
28	1	11	欲しいもの無いと言いつつ秋探す
29	1	14	下校時柿を数える子らの声
30		1	秋雨に見え隠れする沈下橋

31	1	9	夕月や参道てらす竹明かり
32		9	生き生きと川岸に咲きし彼岸花
33		5	雨やめば次々花に秋の蝶
34	1		秋雨や草もしずかに受け流し
35		12	天災がくるたび思う人の暖
36		6	秋恋し月見の酒に飽きはせじ
37		2	夕餉待つ秋刀魚の香る家路かな
38	1	2	白彼岸赤いあの子にほほそめて
39		1	教はる日虫の声がBGM
40	1	2	こっちだよ友らの後ろ光る月
41		3	体ヨガ耳に虫の音心座禅
42		1	月に添う宵の明星真っ直ぐに道
43	1	1	とんぼうや今日のあなたは昨日の君
44		2	月見上げつるべ落としの帰り道
45	1	7	ミステリー読み進めたる夜長かな
46	1	4	飄々と老ゆるばかりや芒原
47	2	7	カンナ燃ゆ戦火の記憶今もなほ
48	2	9	落ち葉掃く母の背中に陽のぬくし
49		2	かすかなる虫の音ひとつ秋来たる
50	1	3	梨甘し三代続く直売所
51	2	6	秋の空ブルーインパルス駆け抜けて
52		5	ねこじやらし車道になびく向き同じ
53	1	4	赤とんぼけふの集合すべり台
54		3	墓前にしゃがみ唱ふ心経秋彼岸
55		7	筋トレに通ふ余生や空高し
56	1	7	淋しさを代わりに鳴くかキリギリス
57		7	孫の顔心をてらす満月よ
58		3	赤とんぼ風の具合ひを見てをりぬ
59	1	2	遠く来てまた道連れのいわし雲
60		2	彼岸花今年も庭に降り立ちぬ
61			湖畔にてビオロン奏秋の日に
62		2	テレビ前相撲観戦手を叩き
63		5	吹く風と幸せ届く金木犀

64		2	朝顔や夏の日差しに勝ち誇り
65		2	彼岸花母の命日同じなり
66			リビングの小窓覗いて雨月かな
67	1	3	さしすせそ秋の夕暮れ歯が抜けた
68	1	2	名月にまかせて空を飛ぶ私
69	3	2	彼岸花燃えて焔のなかりけり
70		3	枯れ蓮池の賑わい去り難し
71		8	飛び跳ねてビーチバレーや秋の空
72		2	天高し飛行機雲や外つ国へ
73	2	2	晩学やすぐにへたりし木の実独楽
74		6	蓮の実の飛んでつまに会ひたき日
75		4	南瓜見て冬至と笑う祖母の顔
76		5	初掘りの芋より祖母はツルを乞う
77	4	3	みの虫の蓑に流行なかりけり
78			鶺鴒の喜び歩きはらはらす
79	2	3	崩れ家に朝焼け見つめ人が立つ
80		2	人間の愚かさ示す雨模様
81		4	虫の音や遠きピアノの夜長かな
82		3	秋の夜六十路の指で奏でけり
83		7	栗茹でるただそれだけの大仕事
84	2	6	ストローの先噛み尽くし鰯雲
85	1	3	秋空に高く響く孫の声
86		5	秋日和妻と手を取りその先へ
87		2	虫の声童謡歌のよき調べ
88		1	秋の風古傷うずき羽織もの
89		2	九月や蝉の声にも秋の影
90		3	星月夜仰ぐ心のほどけゆく
91			をんなのこ連弾に秋弾みをり
92		4	爪弾きの音色の彼方いわし雲
93		16	秋刀魚焼く貴重な匂ひ隣家より
94		8	林檎箱届きて礼の長電話
95	2	5	雨あがり追いつ追われつ赤とんぼ
96		3	虫の音と大合唱耳鳴りや

97	1	2	どこぞ行く列を成しつついわし雲
98		5	ネコ窓の額縁乗って秋の風
99		3	秋の日の祭にぎわい若い衆
100		7	箱寿司にのり巻まきつつ秋日和
101		18	ダイエット食欲の秋うらめしや
102		8	夏長く秋短くて冬近し
103		4	窓開けて涼しさ感じ秋の風
104		10	秋夜長俳句考えAIに聞く
105		2	秋涼し感じないのは温暖化
106		6	秋春が消えて行くのか日本四季
107		1	秋の空異常気象の雨続く
108		2	喧騒を逃れてゐたる虫の声
109	1	5	白ゆえに赤には勝てず彼岸花
110	1		カマキリの捕食動画で撮る親子
111			大寺や秋を担いで足場組む
112	2	5	夜勤明け栗とコーヒー秒で寝る
113	4	15	保護犬の無垢なまなざし秋の空
114	3	4	秋高しかぞく総出の庭仕事
115		10	宝物さがすどんぐりパトロール
116		2	奥津城に子・孫・曽孫や曼珠沙華
117	1	3	恙なくこれまで生きて今朝の秋
118		5	父気張る油ねじ伏せ鮭フライ
119		1	脂ぎる醤油に手開きイワシかな
120		1	秋麗の風にとけこむ鳥の歌
121		3	茜さす夕陽に蜻蛉翅の音
122		1	軒しずくそぼ降る雨に虫の声
123	2	7	爽やかやビーチバレーの歯の白さ
124	4	5	立像も横になりたき残暑かな
125	2	11	ねこじやらし群れてひとつの丘となり
126		5	風に揺れ音符となるや楝の実
127		12	老いた母梨に歯形が残りおり
128			異国の窓輝かせいる月明かり
129		3	重陽の菊を浮かべて祝い酒

130		7	ゆったりとすすきに団子丸い月
131	3	5	赤い羽根町内会の茶封筒
132	2	2	秋の香のコロンに替えて清拭す
133	1	5	猫じやらし触れば雨の匂ひけり
134		2	彼岸花ぐるりと避ける水溜り
135	1	4	遠き日や兄と競ひて槙の実食む
136		8	雨風に折れなお咲きし秋桜
137	1	2	変面とマジックに「オォ」敬老会
138		3	根尾谷へ防災ツアー防災日
139	1	3	虫の声知らず重なる心うち
140		2	新涼や先祖と歩む砂利みち
141		6	灯籠の夜を神秘に寺の町
142		12	ラ・フランス優雅に一人午後の家
143	1	10	貴方にもそっとお供え月見酒
144	2	5	かくれんぼススキの穂先ゆれている
145	1	22	秋晴れや碧南ビーチ沸くアジア
146		3	秋冷や眠い目こする朝ぼらけ
147		4	秋日和スイーツ彩るおばけたち